

第四期中期計画案（令和5年度～10年度）の検討状況

資料 No. 3
令和4年10月3日
評価委員会
公立大学法人岩手県立大学

第三期中期目標期間の見込評価

1 現在の中期目標期間(H29.4～R3.3)の暫定的な業務実績評価

- ◆ 令和3年度に、中期目標期間の4年経過時点(R3.4.1)での中期目標の達成状況を自己評価した。
- ◆ それを基に、県地方独立行政法人評価委員会が評価を行い、課題等の提言を受けた。
- ◆ 評価結果は、令和5年度計画及び次期中期計画の検討に反映させる。

2 評価結果(要約)

- 大学全体としては、**教育、研究、地域貢献の取組が順調に進んでおり**、中期目標・中期計画の達成に向けて**一定の成果**を挙げている。

3 主な課題(要約)

教育

- ・ 大学院(博士課程)の入学者の安定的な確保
- ・ 学生の県内企業認知度向上による県内就職促進

研究・地域貢献

- ・ 産業振興等に貢献するための研究プロジェクトの企画

法人経営

- ・ 科研費の応募及び採択率向上による競争的資金の獲得

今後の大学の姿勢

- ◆ 国内・国際社会の大きな変化の中でも、**建学の理念の実現**
- ◆ 開学30年を迎え、**役割を再認識**
- ◆ 自律的な高等教育機関として、**社会的責任を果たす大学を目指す**

第四期中期計画での主な取組

教育(7項目)、研究及び地域・国際貢献(7項目)、法人経営(10項目)
計24項目

第四期中期計画の検討体制(主な変更点)

中期計画策定委員会の設置

- ・ 第四期中期計画の策定に当たり、全学的な組織体制を構築して取り組むための中期計画策定委員会を設置。
- ・ 効率的・効果的な策定作業を進めていく必要があることから、理事長、学長及び副学長並びに各部局から選定された者等を委員とする全学的な合意形成体制を構築

計画案の作成

